

ことばは力、ことばの力を伸ばそう

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：学校の成績を上げ、希望校に合格するために学力を向上させたいと希望しています。どうしたらよいとお考えですか。

A：(林明夫：以下省略)学力向上のために必要不可欠なことは、自分は今、どのような立場にいるのかを深く自覚することが第1。自覚を深め、勉強の仕方を工夫することが第2。勉強の仕方を工夫しながら、勉強時間をできるだけ長くすることが第3。つまり、自分は今どのような立場かを深く「自覚」し、「勉強の仕方を工夫」し、「長時間勉強する」、この3つが必要不可欠です。

Q：よくわかりました。その他にありますか。

A：ことばの力を身に付け、ことばの力を伸ばすことです。学力とは、日本人を含む人類が培った日本人として、また、人類として必要不可欠な学問、つまり知識のことで、それは文字、つまりことばによって成り立っていますので、ことばの力、言語力を身に付け、それをどんどん伸ばすことが大切です。

ことばは言霊(ことだま)ともいい、一つ一つのことばには意味があり、様々な心が込められています。ですから、一つ一つのことばに含まれている意味をよく「理解」した上で、それを心を込めて用いることが、生きていく上でも、また、勉強するときでも大切だと考えます。

Q：「ことばは力」とはどのようなことですか。

A：人間はことばによって自分自身の考えをまとめ上げ、それを相手に伝えることができます。人間はことばによって相手の考えを知り、それをよく「理解」して、自分はどうしたらよいかを考えることができます。一つ一つのことばには、日本人を含む人類が培った意味がありますので、その意味を自分自身でよく「理解」し、納得した上で心を込めて用いると、相手も「理解」し、納得しやすくなり、自分の心と相手の心が通じると私は考えます。

塾生の皆さんが学校や開倫塾で今勉強している内容はすべて、ことば、言語によって学校の教科書や開倫塾のテキストに書き表されています。学校や開倫塾の先生からことば、言語によって伝えられています。つまり、勉強するとき用いられるのも、一つ一つに意味のある、心のこもったことば、言語です。ことば、言語によって書き表され、表現され、先生方からことば、言語によって皆様に伝えられます。ですから、塾生の皆様は、ことば、言語によって書き表され、伝えられる各科目の内容を、一つ一つのことばの意味とそのことばに含まれる心とともによく「理解」した上で身に付けることが、学力向上の上で大切だと私は考えます。

Q：随分(ずいぶん)と難しそうな内容ですね。では、具体的にはどうしたらよいのですか。どのように各科目の勉強をしたらよいのですか。

A：よく考えれば、そんなに難しいことはありませんよ。一つ一つの科目はことば、つまり言語で教科書が書かれていることはよくわかりでしょう。

ですから、教科書に書いてある一つ一つのことば、言語の意味を「ああ、これはこういうことか」とよく「理解」し、心から納得しながら勉強することが大事です。そのことを、私は皆様にお伝えしたいだけです。私が皆様にお伝えしたいのは、教科書を読んで勉強するときには、一つ一つのことば、言語の意味を、教科書をよく読んだ上でよく「理解」し納得してもらいたいということです。

もし、教科書に書いてあることば、言語の意味がよくわからないときにはどうするか。まずは、辞書や各科目の用語集、各科目の参考書を用いて自分の力で調べて下さいね。国語辞典や英和辞典、各科目の用語集、教科書に沿った各科目の学年別の参考書は勉強する上で大切な道具ですので、できるだけ自分で買いそろえて下さいね。お金が足りなければ、ブックオフなどの古本屋で買っていいのですよ。知り合いからもらっても O.K.です。とにかく、できるだけ手元にあったほうが便利です。

学校の図書室、県や市、町の図書館にも、辞書や用語集、参考書はあります。学校や公立の図書館も、ルールを守った上でどんどん使いこなして下さいね。実は、大学の図書館も、その大学の学生だけでなく、小学生や中学生、高校生の皆様でも利用できるところが大半です。利用の仕方をインターネットなどでよく調べた上で、どんどん使いこなして下さいね。一日中、静かに勉強できますよ。

Q：わからないことば、言語に出合ったら、辞書や各科目の用語集、学年別の参考書を用いて調べるとよいのですね。よくわかりました。調べた後はどうするのですか。

A：せっかく調べたことも、そのままにしておくとお半は忘れてしまいます。調べたことはノートに書き写しておきましょうね。そして、ここから先が大事です。ことばの意味を書き写したノートは、時々でよいですから取り出して、同じノートを何回も、何十回も、何百回も読み直してみることを私は心からお勧めします。一度調べた内容が記されているノートを、何十回も、何百回も繰り返し読み直して身に付けると、その科目がよくわかるようになります。教科書に書いてあることや先生が授業でお話になることがよくわかるようになります。さらに、テストなどで出題される内容がよくわかり、「理解」できるようになります。

つまり、学力が大幅に身に付き、学力が大幅に向上することに直結します。

Q：今、学校で勉強していることは役に立つのですか。

A：今、学校で勉強していることはすべて、上の学年や上の学校に進級・進学してから役に立ちます。例えば、小学校 2 年生の勉強の内容は小学校 1 年生の勉強の続きですので、小学校 2 年生の勉強をよく「理解」したければ、小学校 1 年生の勉強をよく「理解」して身に付ける(「定着」させる)ことが大事です。同じように、高校の勉強は中学校 3 年間の勉強の上に成り立ち、大学の勉強は高校 3 年間の上に成り立っています。大学院修士課程 2 年間の勉強はすべて、大学 4 年間の勉強の上に成り立っています。

このように、今の学年や学校でしている勉強は、次の学年や上の学校での勉強の前提になっていますので、次の学年や上の学校で必ず役に立ちます。学校で勉強することで役に立たないことは何一つありません。

そればかりでなく、学校での勉強は、仕事をする上で、社会で生活をする上で、また、人生を豊かにして充実した人生を送る上ですべて役に立ちます。何らかの形で、死ぬまで一生涯にわたって役に立ちます。それが、学校での勉強です。

学校での勉強は、皆様の人生の成功と、正常に機能する社会をつくるために最も役に立つものです。日本人を含む人類は、日本や人類の文化、伝統、英知を皆様に伝えるために学校という「しくみ」をつくりました。「教科書」や「授業」、「テスト」などという「道具」をあみ出しました。その媒体、仲立ちをするものが、ことば、言語です。

ことばは力、言語は力です。ことばの力、言語力の意味を自分なりによく「理解」した上で、自分なりの方法でよく身に付けて下さいね。

読書を毎日じっくりすると、ことばの力、言語力とともに、思慮深さが身に付きます。新聞を毎日じっくり読むと、ことばの力、言語力とともに、自分で考える力、批判的思考能力が身に付きます。日本語だけでなく英語などの外国語を勉強すると、そのことば、言語を用いて世界各国の様々な文化や伝統、ものの見方を「理解」することができます。その言語を用いている世界中の人々とコミュニケーションをすることができます。

ことばは力、言語は力です。ことばの力、言語力を身に付けて学力を大いに向上させ、日本に、世界に羽ばたいて下さいね。

— 2012年4月9日林明夫記—